

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年9月12日
事業者名:	株式会社マツバラワーク

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	再生可能エネルギーを積極的に活用して発電を行っている電力会社から事業所にて使用する電気を購入している(岐阜電力)稼働時間を短くすることで節電。休憩時間など必要以外の時は機械電源や照明を切る。発生した廃棄物のリサイクル。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑫つくる責任 つかう責任	R2年より実施 事業所内(工場、事務所)すべての照明をLED化し省エネ活動に取り組んでいる。創業時より継続 金属加工にて排出された鉄くずは金属の種類によって分類し、業者に回収してもらっている。(リサイクル) H18年より実施 使用する油脂類は交換時には廃油としてドラム缶に回収し、業者に回収してもらっている。(リサイクル)	指標	使用電力の消費を抑えるため節電の徹底廃棄物リサイクルの実施
				目標	2030年までに既存設備の更新を予定しており、その際は使用電力量を既存設備の10%以上削減できるようになる。毎月、加工により排出された金属(鉄、鋳物、ステンレス等)を業者に回収してもらう。年に一度、廃油として溜まった油脂類を業者に回収してもらう。
社会	事業とは別で代々引き継いできた稲作を行っているが、毎年ある程度の米が余るのでフードバンクへの寄付を行っている。あくまでも事業ありきで稲作をしているが、それが近年の食糧不足で困っている人たちの助けになるので、より多くの寄付ができるよう事業を発展させていきたい。	②飢餓をゼロに	R6年9月実施 フードバンクぎふへお米(ハツシモ)60kg 寄付	指標	事業で上がった収益を農機具等の費用にしていき寄付できる米を増やしていく。
				目標	毎年、地元フードバンクへ毎年食料(ハツシモ30kg以上)の寄付をしていく。
経済	請求書、見積書専用ソフト、会計ソフトを用いて作業効率化を高めている。	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	R2年 会計ソフト導入により紙媒体の見積書をなくすことができた。 R1年 FAXメインだった顧客との連絡方法を90%以上メールでのやり取りに切り替えた。	指標	請求書等のすべての紙媒体を電子化していく。
				目標	2030年までに現在紙媒体のモノを100%電子化していく。現場にはタブレットを配置し、図面だけでなく作業手順書も閲覧できるようシステムを構築していく。 2028年までに現在導入済みのCAD/CAMシステムをメインに生産の効率化を高めていく。

ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載>  社長主導でSDGs に向けての取り組みや目標を見える化し、社内共有している。
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。  事業現場と事務所の掲示板にSDGs の取組を掲載している。今後HPやSNSで外部発信をしていく。